



御幸中学校  
2年学年だより  
令和7年8月6日（水）  
第7号

## 平和学習がありました

7月11日に長編ドラマ『さとうきび畑の唄』を観て、戦争の恐ろしさや、家族の大切さを学びました。今ある生活に感謝し、多くの人の命を奪う戦争を二度と起こさないために、私たちができることを考えましょう。感想を紹介します。



私は、さとうきび畑の唄を見て、今はとても幸せなんだなと改めて感じました。戦時中は、戦争を反対する言動をすれば罪に問われたり、場合によっては殺されたりしてしまうと知り、戦争は自由や命を奪うあつてはならないことだと思いました。そして何より、家族がバラバラになって、知らない間に死んでしまうこともあって、今では考えられないくらい戦争はつらいものだと改めて感じました。だから、空襲もなく、自分の気持ちを正直に相手に伝えることができる、家族に会いたいときに会える今は、とても自由で幸せなんだと思いました。だからこそ、幸せな家族や友達との思い出や、今をもっともっと大切にしようと思いました。そして、家族や友達に戦争のことについて話して、戦争について知ってもらうことが、戦争を無くすことにつながるんじゃないかなと思いました。だから私は、戦争について色々な人に伝えて、戦争を無くす一人になりたいです。

私はこの映画を観て改めて戦争の怖さや切なさを感じました。今、私たちが当たり前に幸せに暮らしているのは人々が一生懸命に国のために働いたからだと思います。だからこそ私たちは、今の日本という国を少しでもよりよくすべきです。そのためにもっと戦争を理解して、今後周りの人に伝えてみたり、毎日安心して生活できることや、些細なことにたくさん感謝したいです。この経験を今後によりよく生きるように少しでも工夫して過ごしていきたいと思いました。

さとうきび畑を見て、戦争は、二度と起こしてはならないと思いました。見ていると、「それでも日本人か」「天皇のために戦え」などという、脅しのような発言がたくさんあって、僕は一人の人間として、それで命を失うのは、あってはいけないと思います。そして、今までに、こんなにも悲しいことがあったのを理解して、同じ人間として、他の人を大切にしたいと思いました。また、習ったことを家族にも伝えたいです。

やっぱり戦争は意味がないと思います。力を持つことができても、命を失うし、子どもを失う、親を失う人が多くいたから、戦争には意味がないし、なくなつてほしいと思いました。先生からもらった紙に、「日本軍の兵士が、壕に逃げ込んだ住民を追い出す、泣いた赤ん坊を殺害」を見て、なんでそんなことをするんだろうと思いました。自分たちも生きるために必死だったかもしれないけど、追い出さなくていいし、敵に見つかるかもしれないけど、小さな命を殺さなくてもいいと思います。殺したら、悲しさが増えるだけです。だから、多くの人の命を奪う戦争はあってはならないし、二度としてほしくないです。戦争での悲劇を何十年たっても残して、知ってほしいと思います。

教科書や話を聞くだけではわからないことが、映画を通して分かりました。当時の戦争の残酷さや、大日本帝国の狂った教育、それが普通だと考える国民。もうそのようなことを起こしてはいけないと思いました。また同じ過ちを繰り返さないためにも、このことを語り継いでいき、戦争の恐ろしさを沢山の人が知るべきだと思いました。



一回の戦争で多くの人が怪我をしたり、気持ちを傷つけられたりしたということが分かりました。戦争が危険で怖いということは知っていたけど、映画を観て、自分が思ってる以上に恐ろしいものだと分かりました。戦争がこれから二度と起らないようにするために、外国と仲良くしていかないと分かりました。

戦争をした相手の国を、日本は恨むと思うけど、その相手の国の兵隊さんにも、私たちと同じく家族がいて、大切な人がいるし、その人に対して「死なないで」と思っている人もいると思います。でも、戦争はそんなこと関係なしに、みんな殺し合って、生き残った兵隊さんも、人を殺したという事実をずっと背負って生きていかなくちゃならないし、本当に誰も得をしない、時間と、お金と、人の命を無にするのが、戦争なんだと改めて思いました。私たちが今こうして、美味しいご飯をいっぱい食べれて、クーラーの効いた涼しい部屋でぐっすり眠れるこの生活が、どれだけ幸せで、大切なことか、改めて実感できました。

沖縄の戦争があったのは知っていたけど、戦争で撃たれて亡くなってしまうだけではなくて、飛び降りて自殺してしまう人や、天皇様のためにと自決する人がいたことを知って、戦争は人間をおかしくしてしまうんだと思いました。今は自分たちの国で、戦争が起きていないから、安心して暮らしているけど、この時代では、いつ撃たれたり、爆弾が落ちてきてもおかしくないので、きっとずっと怯えて暮らしていたんだろうと思いました。そのなかでも、美知子さんの家族は、どんなことがあっても必死で生きようとして、明るく楽しそうに過ごしていて、すごいと思いました。

私はこの映画を観て学んだことが二つあります。一つ目は、戦争の怖さです。戦争はやる意味がないと思います。やってもお互いに死ぬだけだから、メリットがないと思います。家族や友達が死ぬシーンがあって、もし自分の友達や家族が死ぬと思ったら、恐ろしいし、今、幸せに暮らしているのはとてもありがたいことだと思いました。二つ目は、人の命の大切さです。戦争でたくさんの方が亡くなっていて、人を産むのは大変なのに、簡単に人を殺していく、今とは全然違うと思いました。だから今生きている一分一秒の時間を大切にしたいと思いました。

